



平成 19 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 ニッピ
 代表者名 代表取締役社長 伊藤隆男
 (J A S D A Q ・ コード 7 9 3 2)
 問合せ先
 役職・氏名 総務担当取締役 吉原道博
 電話 03 - 3888 - 6651

特別損失の計上ならびに平成 20 年 3 月期中間および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上することになりましたのでお知らせするとともに、平成 19 年 9 月 19 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の中間期および通期の業績予想を修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上とその内容(連結および個別)

役員退職慰労金につきまして「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会第 42 号)を適用し、当中間期より内規に基づく期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたします。この変更に伴いまして過年度発生額 419 百万円(連結)・283 百万円(個別)を特別損失に計上いたします。

また、機械類などの固定資産除却損 143 百万円(連結・個別とも)、社内規準の見直しによります棚卸資産評価損 528 百万円(連結)・505 百万円(個別)、本社工場跡地の土壌改良費用 491 百万円(連結・個別とも)などを特別損失に計上いたします。

2. 平成 20 年 3 月期 中間期業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(1) 中間期業績予想の修正(連結)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中間(当期) 純 利 益
前回予想(A)	18,000	800	580	3,800
今回修正予想(B)	20,074	683	564	1,348
増減額(B-A)	2,074	117	16	2,452
増減率(%)	11.5	14.6	2.8	64.5
前期実績(19年3月中間期)	18,265	515	282	651

(2) 中間期業績予想の修正(個別)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中間(当期) 純 利 益
前回予想(A)	11,000	600	420	3,750
今回修正予想(B)	12,109	438	386	1,466
増減額(B-A)	1,109	162	34	2,284
増減率(%)	10.1	27.0	8.1	60.9
前期実績(19年3月中間期)	13,033	323	287	66

3. 平成 20 年 3 月期 通期業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 通期業績予想の修正(連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	39,200	1,700	1,200	4,100
今回修正予想(B)	39,500	1,600	1,200	1,700
増減額(B-A)	300	100	0	2,400
増減率(%)	0.8	5.9	0	58.5
前期実績(平成 19 年 3 月期)	36,008	974	164	1,696

(2) 通期業績予想の修正(個別)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	23,000	1,300	900	4,040
今回修正予想(B)	24,000	1,100	800	1,700
増減額(B-A)	1,000	200	100	2,340
増減率(%)	4.3	15.4	11.1	57.9
前期実績(平成 19 年 3 月期)	26,613	515	426	715

4. 修正の理由

(1) 中間期

(個別)

売上高に関しましては、皮革部門で新設分割しました(株)ニッピ・フジタへの移管のうち、一部が取引上の理由(顧客の要望)で当社に留まるものがでてきたことにより予想を上回る見込みであります。

営業利益に関しましては、東京工場の閉鎖によって減ると予想しておりました水道光熱費などの固定費が思いどおりに減少しなかったため予想を下回る見込みであります。

経常利益に関しましては、SPC(特別目的会社)の保有する対象物件の売却が遅れ、その期間のSPCからの受取配当が増加したことにより、営業利益の減少率ほど下回りは少なくなる見込みです。

中間純利益に関しましては、平成 19 年 9 月 19 日に「固定資産の譲渡ならびに特別利益の発生に関するお知らせ」にて公表しました出資金清算益(特別配当)が 3,270 百万円から約 3,600 百万円に増額となりましたが、この公表時に税金費用の精繳を行っていなかったため法人税等調整額が約 1,200 百万円になることおよび前述「1. 特別損失の計上とその内容」ことなどにより、前回の予想を下回る見込みであります。

(連結)

売上高に関しましては、上記個別の理由に加え、一部子会社が扱っております皮革や穀物の売上が予想を上回る見込みであります。

営業利益、経常利益に関しましては、上記個別と同様の理由であります。

中間純利益に関しましては、上記個別と同様の理由であります。

(2) 通期(連結・個別)

連結売上高に関しましては、下期で連結子会社(株)ニッピ・フジタの販売先を精査した結果、売上見込を下げたため、通期見込みは上記の通りであります。

個別売上高、営業利益、経常利益に関しましては、当中間期の実績を考慮して修正いたします。

当期純利益に関しましては、上記中間期の理由に基づき修正いたします。

* 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後さまざまな要因によって、上記予想値と異なる可能性があります。

以上